

大麻についての各記載を読むと一般的な書籍ですら現在の大麻取締法に否定的な記載がある理由は

- タバコほど有害でない
- 敗戦後米国によって一方的に法制定された

が主立った論拠である

日本では麻薬をその音により「魔薬」と脳内変換され、更にドラッグに関して無知な国民（健全である証でもある）であるため大麻を"大が付いた麻薬"？などと思ってる人が結構多数いたりする。

ドラッグと聞くと全部一緒くたにして”よくわからんが全部恐ろしいもの”で思考停止している人には

”ヘロイン”、
”コカイン”、
”大麻”、
”覚せい剤”

のどれかひとつを摂取しなければならないとしたらどれを選びますか？

1回だけで結構です。と質問してみよう。

身体的依存症はアルコール、タバコ、モフモフの方が高いと言われることもある。しかし少なくとも日本人の国民性として大麻使用はそぐわないであろう。現代の資本主義自由経済社会には覚せい剤やタバコ、アルコールの方が似合っているから。THCを摂取することでヒッピーのように自然回帰やスローライフの提唱を始めるのは用意に想像可能である。

あと大麻取締法と麻薬及び向精神薬取締法と2つに別れているのにも注目してほしい。神道においての大麻の重要性なんかも調べたらおもしろい

どうしても摂取したければ海外か自家栽培が適当
自家栽培のおすすめは[スカンク](#)か[ホワイトウィドー](#)

一般的に合法の国はオランダのみというイメージがあるが、ヨーロッパでは密輸や販売は禁止だが、自家栽培や何グラムまでの所持は合法など、基本的に売人だけを取り締まる法律になっている国も多い。